

2011年2月10日

**プレスリリース**

本資料は2月10日にチュ  
ーリッヒで発表されたプレ  
スリリースの翻訳版です

**クレディ・スイス・グループ**

**2010年第4四半期業績を発表**

基礎的純利益 10 億スイス・フラン (CHF) \*、株主帰属ベース純利益 8 億 CHF、基礎的株主資本利益率 11.5%、株主帰属ベース株主資本利益率 9.8%、新規純資産 139 億 CHF

**2010 年通年業績**

基礎的純利益 50 億 CHF\*、基礎的株主資本利益率 14.1%、株主帰属ベース純利益 51 億 CHF、株主資本利益率 14.4%、新規純資産 690 億 CHF、Tier 1 資本比率 17.2%

2010 年度配当金 1 株当り 1.30CHF (スイス源泉徴収免除) 提案

**主要業績指標を見直し、市場・規制環境に対応**

クレディ・スイス、新しい環境下で良好な業績をあげる態勢を構築

- 顧客中心で資本効率の高い戦略の実施に成功
- 多様性に富む事業モデル、すべての事業で好調な新規純資産獲得と市場シェア拡大
- 新しい要件に対応できる強固な資本基盤と明確な事業計画
- 質の高い貸借対照表、欧州周辺諸国のソブリン債に対するリスク・エクスポージャーはわずか
- 顧客活動が不安定な年に良好な業績を達成

クレディ・スイス、新しい市場環境に対応する主要業績指標を設定

- 年換算株主帰属ベース株主資本利益率 15%以上

2010 年第 4 四半期

- 全体として良好な業績
  - 基礎的純利益 10 億 CHF\*、基礎的株主資本利益率 11.5%、株主帰属ベース純利益 8 億 4,100 万 CHF、税引前利益 16 億 CHF、株主資本利益率 9.8%、新規純資産 139 億 CHF
- プライベート・バンキング部門、引き続き順調に事業戦略を実行

- 税引前利益 8 億 2,400 万 CHF
- 好調な新規純資産流入 96 億 CHF
- ウェルス・マネジメント顧客事業のグロス・マージン 120 ベーシス・ポイント
- インベストメント・バンキング部門、堅調な業績
  - 税引前利益 5 億 5,800 万 CHF、顧客活動の勢いが継続
  - 引受およびアドバイザリー業務が好調、株式セールス&トレーディングも堅調な業績
  - 債券セールス&トレーディング、不透明なマクロ経済環境と顧客活動の季節的低迷の中で弾力的な業績
- アセット・マネジメント部門、事業戦略の実施にさらに進展
  - 税引前利益 1 億 8,000 万 CHF、新規純資産 45 億 CHF

#### 2010 年通年

- 基礎的純利益 50 億 CHF\*、基礎的株主資本利益率 14.1%、株主帰属ベース純利益 51 億 CHF、株主資本利益率 14.4%、新規純資産 690 億 CHF、2010 年末現在 Tier 1 資本比率 17.2%
- プライベート・バンキング部門
  - 税引前利益 34 億 CHF、純収益 116 億 CHF、新規純資産 546 億 CHF
  - ウェルス・マネジメント顧客事業のグロス・マージン 120 ベーシス・ポイント
  - スイス国内のコーポレート&インスティテューショナル顧客事業、好調な業績
- インベストメント・バンキング部門
  - 税引前利益 35 億 CHF、純収益 162 億 CHF、税引前経済資本利益率 18.0%
  - 主要業務分野で市場シェアをさらに拡大
  - キャッシュ・エクイティで業界第 1 位、プライム・サービスで業界第 3 位を堅持
  - 完了済グローバル M&A 第 3 位 (2009 年は 8 位)
  - グローバルな高利回り債引受第 3 位 (2009 年は 4 位)
- アセット・マネジメント部門
  - 税引前利益 5 億 300 万 CHF、純収益 23 億 CHF、新規純資産 206 億 CHF

クレディ・スイス・グループは、本日、2010 年第 4 四半期および通年の業績を発表しました。それによると、2010 年第 4 四半期の基礎的純利益は 10 億 CHF\*、株主帰属ベース純利益は 8 億 4,100 万 CHF、中核事業の純収益は 70 億 CHF でした。2010 年通年の基礎的純利益は 50 億 CHF\*、株主帰属ベース純利益は 51 億 CHF、中核事業の純収益は 306 億 CHF でした。基礎的株主資本利益率は、2010 年第 4 四半期は 11.5%、同年通年は 14.1% でした。株主帰属ベース株主資本利益率は、2010 年第 4 四半期は 9.8%、同年通年は 14.4% でした。希薄化後 1 株当り純利益は、2010 年第 4 四半期は 0.59CHF、同年通年は 3.89CHF でした。当四半期末現在の Tier 1 資本比率は 17.2% でした。

最高経営責任者 (CEO) のブレイディ・ドゥーガンは 2010 年の業績について、次のように述べています。「クレディ・スイスは、引き続き顧客中心で資本効率の高い戦略に基づいて事業を行い、14%超という業界トップレベルの株主資本利益率を達成しました。これにより、

新しい規制環境への移行期となった2010年も、年間を通じて良好な業績をあげることができました。バランスのよい収益源ポートフォリオを有する当社の統合事業モデルは、弾力性に富んでいることが証明されたほか、あらゆる事業分野で引き続き市場シェアを拡大し、当社に強固な資本基盤を与えました」。

「プライベート・バンキング部門は、好調な新規純資産の流入がありました。顧客資産の獲得における成功は、当社の提案が高い価値を有することおよび顧客が当社に信頼を置いていることの証です。当社のプライベート・バンキング部門は、世界のウェルス・マネジメント各社と比べても、新規純資産の創出、収益力、顧客満足度の点で抜きん出た競争優位性を確保しています。人材、アドバイザー能力、事業基盤の多角化への投資を継続しており、顧客活動レベルが回復すれば、それを活用できる位置を確保しています」。(ドゥーガン)

「インベストメント・バンキング部門は、引受およびアドバイザー業務の業績が好調で、株式セールス&トレーディング業務も堅調な業績となり、引き続きその勢いを維持しました。債券業務は、不透明なマクロ経済環境と顧客活動の季節的低迷の影響を受けたものの、弾力的な業績をあげました。主要商品分野において市場シェアを維持または拡大し、顧客中心事業モデルへの移行を迅速に進めました。完了済のグローバルM&Aとグローバルな高利回り債引受で業界第3位となりました。グローバル・キャッシュ・エクイティは業界第1位、プライム・サービスは第3位を堅持しました」。(ドゥーガン)

「アセット・マネジメント部門は、2010年第1-3四半期に達成した進展を、第4四半期にさらに推し進めました。資産アロケーションとオルタナティブ投資業務に重点を置き、大幅な純資産流入を実現しました。事業戦略の一貫した実施によって、強い勢いが維持されていることをうれしく思います」。(ドゥーガン)

「2010年は、新しい規制環境の形成に大きな進展がありました。このため、当社は一部の既存目標数値を調整し、新たな株主資本利益率の目標値を15%以上、新規純資産成長率の目標値を6%以上としました。これらの値は、当社事業の長期的な成長に対する慎重な予想をもとにしたものです。これらの目標値を一貫して達成していくことができれば、クレディ・スイスはクラス最高の地位を確立できると確信しています」。(ドゥーガン)

「当社は強力な貸借対照表と資本基盤を有し、新たな資本要件への対応についても高い透明性を維持してきました。当社はコスト管理を重視し、変化を続ける市場環境に迅速に対応する能力を示してきました。当社の各事業は市場シェア拡大の勢いを保ち、当社は株主と顧客に持続可能な利益還元を行うことのできる十分な地位を確立しています」。(ドゥーガン)

## 決算ハイライト

単位：百万 CHF	2010年 通年	2009年通年 からの増減率 (%)	2010年 第4四半期	2010年第3 四半期からの 増減率 (%)	2009年第4 四半期から 増減率 (%)
当期純利益 株主帰属ベース	5,098	(24)	841	38	6
希薄化後1株当り利益 (CHF)	3.89	(24)	0.59	23	5
株主資本利益率 株主帰属ベース (年換算)	14.4%	-	9.8%	-	-
Tier 1 資本比率 (期末)	17.2%	-	17.2%	-	-
<b>中核事業</b>					
純収益	30,625	(9)	6,960	11	7

貸倒引当金繰入額	(79)	-	(23)	(12)	(43)
営業費用合計	23,904	(3)	5,676	2	9
継続事業からの税引前利益 <sup>1)</sup>	6,800	(21)	1,307	74	(3)

<sup>1)</sup> 中核事業は3事業部門とコーポレート・センター、非継続事業の業務を含む。ただし大きな経済的利益を有しない非支配持分に関する利益と費用を除く。

## 部門別業績

### プライベート・バンキング部門

ウェルス・マネジメント顧客事業とスイス国内のコーポレート&インスティテューショナル顧客事業からなるプライベート・バンキング部門の当四半期の税引前利益は8億2,400万CHFで、2010年第3四半期からほぼ安定的に推移しました。純収益は同年第3四半期を3%上回る29億1,400万CHFで、これは同年第3四半期にとりわけ低調であった顧客活動が若干回復したことなどから、トランザクション・ベース収益が10%増加したためです。営業費用合計は同年第3四半期比4%増の20億8,600万CHFでした。これは通期業績に基づき業績連動型変動従業員報酬が5%増大したことおよび手数料費用の増加によるものです。当四半期の業績は、米ドルとユーロのスイス・フランに対する平均換算レートの低下によるマイナスの影響を受けました。同部門の貸倒引当金計上は400万CHFで、この内訳はウェルス・マネジメント顧客事業が正味引当金1,400万CHF、コーポレート&インスティテューショナル顧客事業が正味1,000万CHFの取り崩しです。

ウェルス・マネジメント顧客事業の当四半期の税引前利益は6億600万CHFで、2010年第3四半期からほぼ安定的に推移しました。当四半期の純収益は主にトランザクション・ベース収益の増加で3%増えたものの、営業費用合計が4%増えたため相殺されました。トランザクション・ベースの収益は12%増収し、これは主に売買委託手数料および商品発行手数料の増加ならびに統合ソリューションからの増収によるものです。当四半期のグロス・マージンは120ベーシス・ポイントで、同年第3四半期より2ポイント上昇しました。これはトランザクション・ベースの収益の12%増収および平均運用資産高が2.1%増加したためです。

コーポレート&インスティテューショナル顧客事業は、引き続きスイス国内経済における主要金融サービス・プロバイダーとしての役割を担い、当四半期の税引前利益は2億1,800万CHFでした（2010年第3四半期比3%減）。純収益は2%増加しましたが、これは主に2010年第3四半期より純利息収入が増えたこと、およびシンセティック・ローン担保ポートフォリオ「クロック・ファイナンス」の関連時価損失分が縮小したためです。営業費用は4%増加しました。

### インベストメント・バンキング部門

インベストメント・バンキング部門は、当四半期も顧客中心で資本効率の高い戦略を継続し、ほとんどの商品分野と地域で市場シェア成長の勢いを維持しました。キャッシュ・エクイティとプライム・サービス分野では市場リーダーとしての地位を堅持しています。グローバル引受およびアドバイザリー業務の手数料収入のシェアは、2009年の5.9%から2010年は6.3%に拡大しました。

同部門の当四半期の税引前利益は5億5,800万CHFで、これは引受およびアドバイザリー業務の好調な業績、キャッシュ・エクイティ、プライム・サービスおよびデリバティブの堅調な業績、ならびに不透明なマクロ経済環境と通常の季節的トレンドによる債券業務の業績低

下を反映しています。当四半期の税引前利益は2010年第3四半期を41%上回りましたが、これは純収益が34億7,800万CHFで、第3四半期の34億2,100万CHFを若干上回ったためです。同部門の業績は、クレディ・スイス社債の公正価値の減少が同年第3四半期の5,700万CHFから当四半期には5,400万CHFに縮小したことも反映しています。当四半期の税引前マージンは16.0%（同年第3四半期は11.5%）、税引前経済資本利益率は12.5%（同年第3四半期は8.2%）でした。

同部門は、引き続きコスト管理と効率性の向上に重点を置いています。当四半期の従業員報酬費用は18億2,300万CHFで、2010年第3四半期に比べ減少しました。これは主に外国為替調整の影響によるものです。当四半期の営業費用合計は同年第3四半期比4%減で、これは外国為替の影響および訴訟費用の減少によるものです。

リスク加重資産残高は1,460億米ドルで、2010年第3四半期を3%下回りました。一日平均バリュアットリスク値（VaR）99%は2010年第3四半期比12%減の1億400万CHFでした。

### アセット・マネジメント部門

アセット・マネジメント部門の当四半期の税引前利益は1億8,000万CHFでした。当四半期の純収益は3,500万CHF増の6億1,700万CHFで、これは主に業績報酬の増加と株式投資からの繰越利息と収入の増加によるものです。当四半期の投資関連利益の増加はエネルギー、工業、コモディティ分野を中心に9,500万CHFとなり、その一部は主に不動産分野における未実現損失によって相殺されました。営業費用合計は報酬および給付ならびに一般管理費の減少によって微減しました。

### 部門別業績

単位：百万CHF		2010年 通年	2009年 通年からの 増減率（%）	2010年 第4四半期	2010年第3 四半期からの 増減率（%）	2009年第4 四半期からの 増減率（%）
プライベート・ バンキング	純収益	11,631	0	2,914	3	(3)
	貸倒引当金繰入額	18	(90)	4	-	(85)
	営業費用合計	8,187	5	2,086	4	(1)
	税引前利益	3,426	(6)	824	(1)	(4)
インベストメント・ バンキング	純収益	16,214	(21)	3,478	2	14
	貸倒引当金繰入額	(97)	-	(27)	50	(59)
	営業費用合計	12,780	(4)	2,947	(3)	42
	税引前利益	3,531	(48)	558	41	(46)
アセット・ マネジメント	純収益	2,332	27	617	6	(3)
	貸倒引当金繰入額	0	-	0	-	-
	営業費用合計	1,829	1	437	(2)	(9)
	税引前利益	503	-	180	33	13

### 新規純資産

プライベート・バンキング部門が2010年に獲得した新規純資産は546億CHFで、前年の416億CHFを31.3%上回りました。当四半期のプライベート・バンキング部門の新規純資産は好調ではあったものの、季節的影響を受けて2010年第3四半期を下回る96億CHFでした。ウェルス・マネジメント顧客事業の当四半期の新規純資産は81億CHFで、これはスイス国外からの資産流入によるものです。同事業の2010年の新規純資産は453億CHFでしたが、この80%超がスイス国外からの資産流入であり、特に新興市場および超富裕顧客層からの資産流入が顕著でした。

アセット・マネジメント部門が当四半期に獲得した新規純資産は45億CHFでした。これには不動産、ETF、クレジット戦略などのオルタナティブ投資における正味資産流入分36億CHFおよび従来投資業務における資産流入分9億CHFが含まれています。スイス国内アドバイザリーおよび債券業務の資産流入分は、マルチアセット・クラス・ソリューション業務からの資産流出分によって一部相殺されました。

クレディ・スイス・グループ全体の運用資産総額は当四半期末現在1兆2,530億CHFで、2010年第3四半期末から安定的に推移しました。2009年第4四半期末から240億CHF、すなわち2%増加しました。

### 資本基盤

クレディ・スイスの資本基盤は引き続き強固です。2010年第4四半期末時点のTier 1資本比率は17.2%でした。2010年第3四半期末は16.7%、2009年第4四半期末は16.3%でした。

### 主要業績指標

ベンチマーク達成に向け、クレディ・スイス・グループは一連の主要業績指標（KPI）を規定し、市場サイクル全体を通じて今後3-5年の間で達成すべき株主資本利益率を含む目標値を定めました。

2010年通年の株主帰属ベース株主資本利益率は14.4%でした。クレディ・スイス・グループの戦略的計画に沿って、今後の年換算株主帰属ベース株主資本利益率の目標値を、これまでの18%から下げて15%以上としました。

### 資本準備金からの配当を提案

取締役会は2011年4月29日に開催予定の年次株主総会で、2010年度の配当を1株当たり1.30CHFとし、資本準備金から支払う提案を行う予定です。この配当はスイス国内源泉税が免除され、個人投資として株式を保有するスイス在住者に課税される所得税の課税対象外となります。

\* 基礎的純利益：2010年通期の基礎的純利益は、信用スプレッドの拡大およびクレディ・スイスの長期債に関連するクロス・カレンシー・スワップに関する公正価値の減少を原因とするクレディ・スイス・バニラ債に関する公正価値の増加2億1,900万CHF（税引後ベース）、英国における変動報酬に対する課税に関連した4億400万CHF、訴訟関連費用1億7,300万CHF（税引後ベース）および税率正常化関連調整分マイナス4億8,800万CHFを除く。2010年第4四半期の基礎的純利益は、信用スプレッドの逼迫を原因とするクレディ・スイス・バニラ債に関する正味時価関連費用1億4,600万CHF（税引後ベース）およびクレディ・スイス長期債に関連したクロス・カレンシー・スワップの公正価値の減少を除く。

### 本件に関するお問い合わせ先

クレディ・スイス  
コーポレート・コミュニケーションズ  
梶野 勇  
Tel : 03-4550-9893  
Email : isamu.kajino@credit-suisse.com

#### クレディ・スイス AG について

クレディ・スイス AG は、世界有数の金融機関として、プライベート・バンキング、インベストメント・バンキング、アセット・マネジメント事業を世界中で展開し、アドバイザー・サービス、包括的なソリューション、革新的な商品を、世界中の企業、法人顧客、富裕層個人顧客、スイス国内の一般個人顧客に提供しています。クレディ・スイス AG は、世界 50 ヶ国以上に拠点をもち、約 50,100 人の従業員を有しています。親会社クレディ・スイス・グループ AG の株式 (CSGN) はスイスで上場され、米国預託証券 (CS) としてニューヨークでも上場しています。

#### Cautionary statement regarding forward-looking information and non-GAAP information

This press release contains statements that constitute forward-looking statements within the meaning of the Private Securities Litigation Reform Act. In addition, in the future we, and others on our behalf, may make statements that constitute forward-looking statements. Such forward-looking statements may include, without limitation, statements relating to the following:

- our plans, objectives or goals;
- our future economic performance or prospects;
- the potential effect on our future performance of certain contingencies; and
- assumptions underlying any such statements.

Words such as “believes,” “anticipates,” “expects,” “intends” and “plans” and similar expressions are intended to identify forward-looking statements but are not the exclusive means of identifying such statements. We do not intend to update these forward-looking statements except as may be required by applicable securities laws. By their very nature, forward-looking statements involve inherent risks and uncertainties, both general and specific, and risks exist that predictions, forecasts, projections and other outcomes described or implied in forward-looking statements will not be achieved. We caution you that a number of important factors could cause results to differ materially from the plans, objectives, expectations, estimates and intentions expressed in such forward-looking statements. These factors include:

- the ability to maintain sufficient liquidity and access capital markets;
- market and interest rate fluctuations;
- the strength of the global economy in general and the strength of the economies of the countries in which we conduct our operations, in particular the risk of a continued US or global economic downturn in 2010 and beyond;
- the direct and indirect impacts of continuing deterioration of subprime and other real estate markets;
- further adverse rating actions by credit rating agencies in respect of structured credit products or other credit-related exposures or of monoline insurers;
- the ability of counterparties to meet their obligations to us;
- the effects of, and changes in, fiscal, monetary, trade and tax policies, and currency fluctuations;
- political and social developments, including war, civil unrest or terrorist activity;
- the possibility of foreign exchange controls, expropriation, nationalization or confiscation of assets in countries in which we conduct our operations;
- operational factors such as systems failure, human error, or the failure to implement procedures properly;
- actions taken by regulators with respect to our business and practices in one or more of the countries in which we conduct our operations;
- the effects of changes in laws, regulations or accounting policies or practices;
- competition in geographic and business areas in which we conduct our operations;
- the ability to retain and recruit qualified personnel;
- the ability to maintain our reputation and promote our brand;
- the ability to increase market share and control expenses;
- technological changes;
- the timely development and acceptance of our new products and services and the perceived overall value of these products and services by users;
- acquisitions, including the ability to integrate acquired businesses successfully, and divestitures, including the ability to sell non-core assets;
- the adverse resolution of litigation and other contingencies;
- the ability to achieve our cost efficiency goals and other cost targets; and
- our success at managing the risks involved in the foregoing.

We caution you that the foregoing list of important factors is not exclusive. When evaluating forward-looking statements, you should carefully consider the foregoing factors and other uncertainties and events, as well as the information set forth in our Annual Report 2009 under IX – Additional information – Risk Factors.

This press release contains non-GAAP financial information. Information needed to reconcile such non-GAAP financial information to the most directly comparable measures under GAAP can be found in the Credit Suisse Financial Release 3Q10